



広報 常陸大宮



2018
2
No.161

文化財防火デー
甲神社での放水の様子
(関連記事 P12)

主な内容

P2～3

P4～5

P6

P7～13

P16

成人式

叙勲・褒章を受章された皆さん

いきいき茨城ゆめ国体

まちのできごと

市史編さんだより

平成30年 常陸大宮市成人式

1月7日、市文化センターで成人式が開催され、新成人たちが大人としての新たな一歩を踏み出しました。
今年の成人者は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までの間に生まれた、市内在住者や出身者448人が対象で、381人が出席しました。

式典は、成人式実行委員会委員の藤田晶子さん、小木津祐介さんの司会で進められ、開式のことばは、宇野明野加さんが行いました。平島史也さんのピアノ伴奏で国歌斉唱をし、高橋健太さんとジェニーオテイさんへ三次市長から記念品が贈呈されました。その後、市長と皆川堅哉委員長のあいさつに続き、来賓の方々からお祝いや激励の言葉が贈られました。そして高須拓実さん、木村智佳さんによる「はたちの主張」で、周囲の人たちへの感謝の気持ちと将来に向けての決意が述べられました。この日、成人を迎えた皆さんが、本市を誇りに思い、遠くにいても故郷を大事に思う気持ちを忘れず、夢や希望を持って社会で力強く歩んでいってくれることを期待しています。



▲ 司会の藤田晶子さんと小木津祐介さん



▲ 開式のことば
宇野明野加さん



▲ 平島史也さんの
伴奏で国歌斉唱



▲ 委員長あいさつ
皆川堅哉さん

式典を支えた実行委員

各中学校から選出された42人の実行委員の皆さんが、仕事や学業の合間をぬって会議を開催し、成人式の企画・運営を行いました。



高校生会も協力

高校生会の会員も、先輩たちの門出の日のため、準備や受付などに協力しました。



研修生も出席

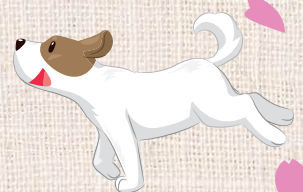
パラオ共和国研修生3人も、成人式に出席し、日本の文化を学びました。



▲新成人を代表して記念品を受け取った高橋健太さんとジェニーオティさん

▲はたちの主張を発表した高須拓実さん（左）と木村智佳さん（右）

▲閉式のことば 山崎 司さん



平成29年に叙勲・褒章を受章された皆さん

◆瑞宝双光章

堀江 文男さん（教育功労）



昭和21年久慈郡北富田国民学校に奉職以来、学校の課題解決と教育活動の改善、充実に大きく貢献されました。教育に確固たる信念と実行力を持って学校教育、地域教育の振興に尽力し、「教育は人なり」を身をもって示され、教育の振興と発展に多大な功績を残されました。退職後は、豊富な知識や経験を教育行政に活かし、地域教育の向上に寄与されました。

◆瑞宝単光章

青柳 幸雄さん（消防功労）



昭和42年に旧御前山村消防団に入団以来、消防発展のため献身的に努力され、防火思想の普及等消防行政の発展に尽力されました。

平成14年には、旧御前山村で初めて総合防災訓練を実施し、消防団長として防災力の向上とコミュニティ活性化に大きく貢献。また、代表を務める長倉七夕まつり協賛会が県功労者表彰を受賞され、地域振興活動への功績は高く評価されました。

◆瑞宝双光章

青木 高博さん（防衛功労）



昭和49年海上自衛隊横須賀教育隊に入隊し、防衛省第205教育航空隊で、学生に対する教育に全力を傾注し、航空電子整備員として必要な基礎知識・技能を習得させ、教範及び教育資料等を積極的に作成し、教育に反映させるなど海上自衛隊の要員教育に大きく寄与。国家防衛の重要性を認識され、国の防衛に多大な功績を残されました。

◆瑞宝双光章

宇留野 喜久榮さん（自治功労）



昭和21年に東茨城郡伊勢畑国民学校に奉職され、学校教育の振興に献身的な努力をされ、退職後は、大宮町議会議員として優れた政治手腕を遺憾なく発揮し、まちづくりに邁進されました。永年の教育者としての経験を活かし、教育環境の整備と将来を担う子どもたちの健全な心身の育成に多大な貢献をされました。

◆藍綬褒章

清水 一夫さん（統計調査功労）



昭和35年に国勢調査員に任命されて以来、45年の長きにわたり統計調査員として従事され、その責務を確実に遂行されました。平成4年に統計調査功績者として茨城県知事表彰、平成18年には国勢調査功績者として総務大臣表彰を授与されました。さらに、消防団員として活躍され地域防災に尽力されるとともに、平成14年から平成18年まで山方4区の副区長と区長を歴任し、地域社会の発展推進に大きく寄与されました。

◆瑞宝双光章

梶 調さん（教育功労）



昭和23年に那珂郡小瀬村立小瀬第一小学校に奉職以来、高邁な教育理念を掲げ、卓越した指導力をもって常に児童を思い教育に専心されました。平成元年には文部省と大宮町教育委員会から学校適応対策校の指定を受け教育実践に取り組み、教育の資質向上に大いに貢献されました。退職後は、大宮町教育委員会社会教育指導員として、地域住民のため献身的に尽力されました。

◆瑞宝双光章

大河 徳納さん（消防功労）



昭和44年に神奈川県川崎市消防局消防吏員として奉職以来、消防業務の積極的な推進・運営の円滑に努め、組織の発展向上に貢献されました。

阪神淡路大震災では、緊急消防援助隊として現地に出勤し、多種多様な現場活動にあたり社会的貢献を積極的に果たされ、消防人として情熱と努力は高く評価され、内外から厚い信頼を得られました。

◆瑞宝双光章

廣木 泉さん（消防功労）



昭和48年に旧大宮山方地区消防事務組合消防吏員として奉職以来、重職を歴任、消防長として消防力の充実強化の推進と職員の教育向上、消防組織の発展向上に貢献。東日本大震災では、災害対策本部を迅速に設置し、緊急事態での迅速な災害対応体制を整備され、優れた判断力を発揮されました。また、豊かな消防経験と知識を遺憾なく発揮し、市の防災業務への多大なる貢献は高く評価されました。

◇瑞宝単光章

長岡 修さん（防衛功労）



昭和 50 年海上自衛隊横須賀教育隊に入隊し、その後、水戸募集案内所広報官に従事されるなど、地元で自衛隊入隊の広報活動にも尽力。豊富な経験と優れた知識・技能をもって、若年隊員に対する教育を積極的に実施し、隊員の能力向上に寄与されました。国家防衛の重要性を認識され、常に責任感を持ち、誠実かつ積極的に職務を遂行され、国家防衛のため多大なる功績を残されました。

◇瑞宝単光章

堀江 隆一さん（消防功労）



昭和 45 年に旧美和村消防団に入団以来、消防発展のため献身的に努力され、現在の消防基盤を確立。旧美和村消防団団長として、火災防御訓練及び消防ポンプ操法を含めた規律訓練を行うことで団員の規律向上、士気の高揚を図るなど、献身的な努力をされました。郷土愛の精神と豊富な経験により消防施設の整備、防火思想の普及等消防の発展に尽力され、多大な功績を残されました。

◇藍綬褒章

鈴木 邦彦さん（医療功労）



平成 5 年より医療法人博仁会志村大宮病院に勤務。医療・介護・福祉分野で住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、最先端の地域包括ケアを推進。少子高齢社会及び地域における医療と介護のニーズを踏まえ、「日医かかりつけ機能研修制度」を開始するに当たり、各都道府県医師会にその必要性を訴え、制度の立ち上げと定着に大きく貢献されました。

◇瑞宝双光章

野上 演さん（教育功労）



昭和 25 年久慈郡大子町立大子中学校教諭として奉職以来、卓越した指導力をもって、常に児童生徒に強い愛情を持って教育に専心され、地域に根ざした丁寧で誠意溢れる学校経営に努められました。県北山間地域のへき地小規模や町村の中心部の特色ある学校づくりに全身全霊を捧げた教育姿勢は、地域住民から共感を得、教育のみならず山方野上区の区長としても、地域のために献身的に尽力されました。

◇瑞宝双光章

戸井田 清美さん（自治功労）



昭和 41 年総理府統計局に事務官として入官され、昭和 59 年沖縄開発庁総務局において、沖縄の振興に尽力され多大なる貢献をされました。長年にわたる統計行政の発展と沖縄振興、青少年の健全育成など広範における業務において尽力され、多大な功績を残されました。

叙勲・褒章とは…

栄典として、国家または公共に対して功労のある方へ勲章を授けることを叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績のある方へ、褒賞の記章を授与することを褒章といいます。

生存者に対する叙勲・褒章は春と秋の 2 回行われます。この他に随時授与される高齢者叙勲、外国人叙勲や、公益のために私財を寄付した方への紺綬褒章などがあります。

1/10

新年賀詞交歓会を開催しました

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で約 300 人が参加して盛大に開催されました。

はじめにアトラクションとして、「日本大正琴協会 琴睦会」の皆さんによる演奏が披露され、会場の皆さんは大正琴の柔らかな音色に聞き入っていました。その後、市長や来賓の新年のあいさつに続き、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付等をしていただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。

今年は、パラオ共和国からの研修生も参加し、緊張しながらも皆さんに日本語であいさつをしました。

また、会場内には、泉坂下遺跡や常陸大宮さん特産品が展示され、会の最後には、市の特産品が当たる抽選会が開催されました。



▲新年を祝って乾杯

いきいき茨城ゆめ国体2019



第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

な ぎなた競技会ポスターコンクール

国体をより身近に感じてもらうとともに、多くの市民の皆さんの記憶に残る取り組みになるよう、本市実行委員会では、なぎなた競技のポスターを募集しました。125点の作品が寄せられ、審査の結果、各部門で最優秀賞、優秀賞、特別賞の22点が決定しました。

このうち、最優秀賞受賞者には、市長室で表彰を行いました。

〈最優秀賞〉

小学1～3年生の部	1年	わたなべ 渡邊	れおん 蓮音さん	(山方南小)
小学4、5年生の部	4年	しとみ 都	りなこ 理向子さん	(大宮小)
中学生の部	3年	ふじた 藤田	いつき 樹さん	(山方中)
高校・一般の部	1年	おおつか 大塚	たけと 健斗さん	(常陸大宮高校)

なお、藤田樹さんの作品は、5月26、27日に西部総合公園体育館で開催される第59回都道府県対抗なぎなた大会（リハーサル大会）のポスター及び大会プログラムの表紙となります。

また、大塚健斗さんの作品は、来年開催される第74回国民体育大会なぎなた競技会のポスター及び大会プログラムの表紙となります。



▲左から蒔さん、渡邊さん、大塚さん

い ばうッキーがゆくー国体PR作戦ー



賀詞交歓会に参加し、今年の5月に行われるリハーサル大会のPRを行いました。



第7回常陸大宮クロスカントリー大会の開会式に参加し、選手にエールを送りました。

中 学校なぎなた出前講座を開催

なぎなた競技を知ってもらうために、市内の中学生を対象に『なぎなた出前講座』を実施しました。茨城県なぎなた連盟の先生と太田二高なぎなた部員の皆さんから指導を受けました。



高校生と一緒に練習



太田二高なぎなた部の演武披露



授業参観で保護者の皆さんも参加

■問い合わせ■

いきいき茨城ゆめ国体常陸大宮市実行委員会事務局
(常陸大宮市教育委員会文化スポーツ課国体準備室内)
TEL 0295-53-6501 FAX 0295-53-6502

第19回 山方宿若あゆ駅伝大会

毎年恒例の山方宿若あゆ駅伝大会が開催されました。山方宿通りを往復する走路には、選手の家族などが寒空の下、必死にタスキをつなぐ選手たちに声援を送っていました。

開催日：12月24日(日)
主催：山方体育協会(木村則義会長)
コース：山方宿通り(山方支所前～J R山方宿駅ロータリーの折り返し)
参加チーム：低学年の部 11 チーム、高学年の部 13 チーム

《低学年の部：小学1年～3年》 (敬称略)

優勝 ゴールドレックス (立原沙耶・坏瑛太・坏結愛・木村悠人・牧野陽人・鹿嶋美佑)
準優勝 ドリームスター (檜山蓮・前田九牙・森田来夢・渡邊侑衣斗・菊池優音・三村晃大)
第三位 常陸大宮陸上キラキラボーイズ (黒部凌・大賀元道・小林巧季・高野煌琉・金沢宗祐・小室陽太)

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子	あいざわここな 會澤心愛	とみやまれいあ 富山怜愛	きくちみなお 菊池心音	はしもとすみれ 橋本純怜	かしまゆめ 鹿島夕愛	かしまみう 鹿嶋美佑
男子	たかくらあきと 高倉彰斗	あくつえいた 坏 瑛太	もりたらいむ 森田来夢	たかのきらり 高野煌琉	きくちゆうと 菊池優音	ことうそうま 後藤壮馬

《高学年の部：小学4年～6年》

優勝 常陸大宮陸上ブラザーズ (鈴木龍生・小林雅紀・佐久間蓮・橋本龍征・小室寛太)
準優勝 ファイブスターズ!! (後藤遥生・川井拓真・桐原叶登・野上晴杜・鈴木雄翔)
第三位 レディバー (木村祐介・井坂蓮・増子和希・増子遼・中島一哉)

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区
女子	えびね 海老根ひなた	たかむらりょうか 高村稜花	かわいあんな 川井杏夏	おおもりさき 大森早記	あくつともよ 坏知世
男子	すずきりゅうせい 鈴木龍生	こばやしまさき 小林雅紀	ましこかずき 増子和希	のがみはると 野上晴杜	えびねよしと 海老根嘉斗

区間特別賞	あいざわここな 會澤心菜 (低学年の部1区)	のがみはると 野上晴杜 (高学年の部4区)	はしもとりゅうせい 橋本龍征 (高学年の部4区)
-------	---------------------------	--------------------------	-----------------------------

※区間特別賞とは、区間新記録を出した選手を表彰するものです。



▲低学年の部優勝「ゴールドレックス」



▲高学年の部優勝「常陸大宮陸上ブラザーズ」

2,160人
が参加!!

第7回

常陸大宮クロスカントリー大会兼 みんなで楽しくグリーンウォーキング

1月14日、水戸グリーンカントリークラブ山方コースで、常陸大宮クロスカントリー大会が開催されました。快晴で風もなく穏やかな天候のもと、大宮中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けました。

ゲストランナーとして、リオデジャネイロオリンピック4×100mリレー銀メダリストの飯塚翔太さん、本市出身で城西大学の中島公平さん、箱根駅伝優勝の青山学院大学から森田歩希さんなどが参加し大会を盛り上げました。

競技の合間には、川崎真裕美さんのウォーキング特別教室、飯塚翔太さんのちびっこランニング教室が開催され、一流アスリートから指導を受けながら共に楽しいひとときを過ごし、JA常陸大宮地区女性部による郷土料理けんちん汁が無料で提供され、競技を終えた選手たちのお腹を満たしていました。

また、パラオ共和国からの研修生3人も2000mのウォーキングに参加し、日本のゴルフ場の感覚を楽しんでいました。





《部門別の結果》

(敬称略)

種目	部門	1位	2位	3位
1000 m	フリーラン	たけごし ちさと 竹越 智里	むとう さとこ 武藤 諭子	にしやま がい 西山 凱
	小学男子 (3年生以下)	ものい じげん 物井 慈元	ほそや あきと 細谷 晃虎	すぎやま りゅうたろう 杉山 龍太郎
	小学女子 (3年生以下)	よこくら つばみ 横倉 つばみ	すずき りん 黒羽 柚妃	鈴木 凜
2000 m	小学男子 (4年以上)	よしだ しょうま 吉田 翔真	はしもと しん 橋本 真	おおわだ りく 大和田 陸
	小学女子 (4年以上)	つむらや にな 圓谷 仁渚	すぎやま ま 杉山 舞桜	すぎやま しずく 杉山 雫
	中学男子	ぬまた りょうた 沼田 良太	こまつ りゅうたろう 小松 裕大朗	ふじた のぞむ 藤田 望夢
	中学女子	なかの ふうか 中野 風夏	なまいざわ ゆな 生井沢 優奈	まつだ みのり 松田 みのり
4000 m	中学男子	つむらや りお 圓谷 吏生	にしまさき しゅんすけ 西槇 駿祐	こだま みずき 小玉 瑞葵
	中学女子	きむら みゆ 木村 心優	いさか かりん 井坂 佳鈴	にしまさき あんり 西槇 杏莉
	高校男子	よしかわ さんしろう 吉川 三四郎	こだま こうき 小玉 倅輝	なかの れい 中野 怜
	高校女子	なまいざわ ゆうか 生井沢 友佳	もぎ みき 茂木 美樹	にかいどう ゆい 二階堂 優衣
	一般男子 (18歳以上)	しおざわ ゆうや 塩澤 裕也	たかはし すぐる 高橋 英	ひらね じゅんいち 平根 潤一
	一般女子 (18歳以上)	ひらの りょうこ 平野 綾子	おの みか 小野 美香	わち 真紀子 和知 真紀子
	一般男子 (40歳以上)	すずき ひろゆき 鈴木 宏之	いしつか かずしげ 石塚 一成	ひがし こうじ 東 浩司
	一般女子 (40歳以上)	ほんじょう さちこ 本城 幸子	すぎもと けいこ 杉本 桂子	わたひき しずか 綿引 しずか
6000 m	高校男子	こばやし たつや 小林 竜也	きくち りょうま 菊池 竜馬	おぎぬま なおと 荻沼 直人
	高校女子	うちこし みゆ 打越 美優	はしの れいな 橋野 玲奈	ふたがわ あやか 二川 彩香
	一般男子 (18歳以上)	さとう まさあき 佐藤 征昭	のがみ よしひろ 野上 善弘	沼田 淳一 沼田 淳一
	一般女子 (18歳以上)	おおつか りお 大塚 理央	なかむら まゆこ 中村 真悠子	あらい めい 荒井 芽衣
	一般男子 (40歳以上)	よしおか おさむ 吉岡 修	おおたき まなぶ 大滝 学	たきざわ ゆきやす 瀧澤 之靖
	一般女子 (40歳以上)	たかはし まさこ 高橋 雅子	いまの しょうこ 今野 祥子	きむら ゆきこ 木村 有希子

1/15 山地災害防止標語で表彰

市立御前山小学校6年の石崎あすみさんが平成29年度山地災害防止標語及び写真コンクール（主催：一般社団法人日本治山治水協会）で、全国から応募があった標語3,842点の中から11点に選ばれ、会長賞にあたる優秀賞を受賞しました。

石崎さんは、「この標語は普段の生活の中で山を見ていて思い付きました。」と話していました。

石崎さんの標語

【森林が 世代をこえて 土砂防ぐ】



▲指導した長山恵美子先生と石崎あすみさん

1/17 美和ささの湯 200万人達成！

美和ささの湯の来館者が200万人を達成し、記念セレモニーが行われました。

200万人目になったのは、ひたちなか市より訪れた大内昇さんで、この日は大内さんのお誕生日でした。大内さんには、花束と市特産品詰め合わせ、ささの湯入浴回数券が贈呈されました。「月に1回は利用していて、露天風呂が良くて癒されます。誕生日のいい記念となりました。」と話していました。



▲（右）200万人目になった大内さん

1/17 茨城県統計功労者表彰

多くの統計調査に調査員として従事され、統計業務の発展に貢献された7人の方が表彰されました。

●厚生労働大臣表彰（毎月勤労調査）

富山 明さん（栄町）

●茨城県知事表彰

小林 和郎さん（山方）、浅川 洵さん（抽ヶ台町）

●茨城県統計協会総裁表彰

塩幡 行男さん（下岩瀬）、木村 望東男さん（舟生）

川野邊 文次さん（小祝）、大瀧 政光さん（鷺子）



▲（右）賞状を手にする富山明さん

1/23 国保事業への貢献により感謝状

水戸市で開催された茨城県国民健康保険運営協議会会長会平成30年定期総会で、小森男さん（小野）に感謝状が授与されました。

小森さんは、平成20年8月から平成28年12月まで8年5か月の間、本市国民健康保険運営協議会の委員や会長を歴任し、国民健康保険事業の発展と健全な運営にご尽力され、その功績に対し表彰されました。



▲長年にわたりお疲れさまでした

1/13

西の内紙で作る糸掛け曼荼羅ワークショップ

地域おこし協力隊の松原（旧姓：木元）隊員による、西の内紙で作る糸掛け曼荼羅のワークショップが、和紙民芸館紙のさとで開催されました。

まず、西の内紙から紙布（しふ）を作りました。紙布とは、麻や木綿が高価だった時代、使用済みの和紙を細かく裂き、それを紙に紡いで織った布を言います。

このワークショップでは、西の内紙を細かく切り、紙から糸を紡ぐ過程を体験しました。



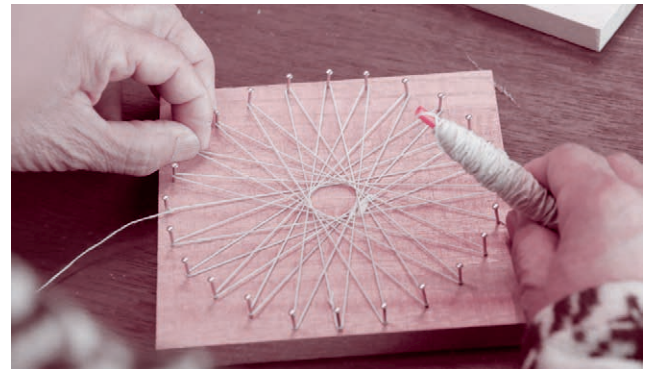
▲紙から布にする作業



▲糸を紡ぎます

また、糸掛け曼荼羅とは、円形に打った釘に糸を掛けながら、曼荼羅の模様を作り出します。糸を掛ける時は、宇宙の法則と深く関係しているといわれる、素数を使って掛けていき、自分自身の内面と静かに向き合う瞑想のような効果が体感できるとされています。

この作業をとおして、伝統工芸に触れながら先人の知恵と生活を学び、紙布を身近に感じることが出来たようです。参加者からは、「糸を紡ぐのが難しかった」「長い作業だったが楽しかった」という声が聞かれました。



▲紡いだ糸で曼荼羅模様を作っていきます

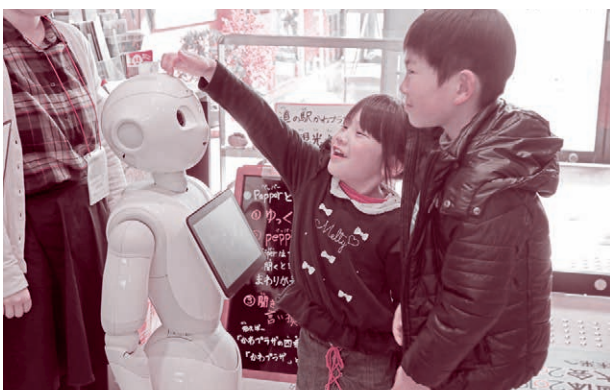
1/18

道の駅常陸大宮にロボット登場

道の駅常陸大宮～かわプラザ～と県立産業技術短期大学校が連携し進めている道の駅でのIT技術の活用について、自らが感情を持ったロボット Pepper（ペッパー）を用いた実証実験が行われました。

実験では、お客様とゲームを通じたコミュニケーションや観光案内などの問いかけに対する反応、道の駅常陸大宮の施設に関する案内をするなどの効果が確認されました。

問いかけに反応するロボットに、お客様からの驚きの声や楽しそうに遊ぶ子どもたちでにぎわいました。



▲ペッパーくんの反応にびっくり！

1/20

婚活セミナー in HITACHIOMIYA

（一社）いばらき出会いサポートセンターの會田一之さんを講師に迎え、婚活セミナーを開催しました。

セミナーでは、結婚観の変化から現代の婚活事情、モチベーション維持の方法など、貴重な話を聞くことができました。また、「選ぶより選ばれる」をポイントに、実例を交えた多くのアドバイスがありました。

今回のセミナーは、活動中の方にも応援者にも、今後のヒントが見つかる有意義な時間になったのではないのでしょうか。



▲セミナーの様子

1/20

お宝発見事業

市のお宝発見事業第4回を、27人の参加のもと実施しました。

今回は、市内でも生産されている「常陸秋そば」のそば粉を使ってそばうちを体験しました。教えてくれたのは「塩田そばの会」のみなさんです。

最初に講師の実演を見学し、その後、2～3人のグループに分かれてそば打ちに挑戦しました。

まずそば粉に水を入れ混ぜ合わせ、その後、手でこ



ね麺棒で延ばす作業を行い、最後に麺切包丁で生地を細く切って自分たちのそばを作り上げました。

昼食では、自分たちで打ったそばを味わい、最後に、講師代表の宇留野秋良さんから、常陸秋そばの特長や市内の生産状況などのお話を聞き、理解を深めました。

参加者たちは、グループの仲間やボランティアの茨城大学生と協力し、楽しく、そして真剣に今回の体験に取り組むことができました。

学生ボランティアの声



茨城大学2年
子どもふれあい隊
皆川 翼

今回のお宝発見事業では、そば打ちと一緒に体験しました。子どもたちの視線はとても真剣で、各々がこだわりを持って作り上げることが出来ました。一緒にそば打ちを学習出来て良かったです！次回のお宝発見事業が待ち遠しいです！

1/25

貴重な文化財を火災から守ろう

毎年1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年1月26日、法隆寺金堂の壁画が焼損する火災が起きました。これを機に火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。そしてこの日の前後に毎年全国的に文化財防火運動が展開されています。

市内でも、下町の甲神社で消防訓練を行いました。神社関係者、近隣の下町地区住民、東消防署、教育委員会の合同訓練となりました。甲神社は平安時代に創建したと伝わり、戦国武将佐竹氏にゆかりの深い神社です。大宮町の町名の由来であり、地域にとって非常に重要な神社です。宝物として、県指定文化財2点、

市指定文化財4点を所有しており、市指定の天然記念物のご神木も敷地内に所在しています。

26日には、教育委員会と消防署が合同で市内40か所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

火災は、数百年もの間地域で守られてきた宝を一瞬で奪ってしまいます。今回の訓練は、身近にある貴重な文化財の存在を再確認し、もしもの時にも対応できるように備えるよい機会となりました。

皆さんの身近にも多くの貴重な文化財があります。国民共通の貴重な財産を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲ 消火器訓練



▲ 消防設備点検

1/16
・18

小瀬高校から発信！

県立小瀬高校で16日、「地域PRプレゼンテーション『My hometown』」審査会が行なわれました。3年生が自分たちの目線で地域の魅力を見つめ直し、考案したツアーを資料と動画でプレゼンテーションするというもので、14班が競い合いました。ハイキングや日帰り温泉、道の駅に着目した「正統派」から、心霊スポットを取り上げた「ユニーク派」まで幅広い意見が出されるなど、真剣さの中にも笑いがこぼれる審査会となりました。

また、18日には、落語家三代目、桂小南師匠を講師に、生徒の言語活動充実・コミュニケーション能力の育成を目的とした落語講座が緒川総合センターで行なわれました。

実際に8人の生徒が高座で小ばなしやしゃれなどを披露し、小南師匠からアドバイスを受けました。落語をとおして、相手に話す時に必要な分かりやすい伝え方を学びました。



▲桂小南師匠と高座にあがる生徒

ハッピー子育てひたちおおみや

結婚祝い金

常陸大宮市商工会共通商品券
3万円分
問い合わせ：こども課

妊産婦及び乳児健康診査費用の助成

妊婦一般健康診査 14回
産後1か月健康診査 1回分
生後1か月健康診査 1回分
乳児健康診査 2回分
問い合わせ：健康推進課

不妊治療費の助成

1回の治療につき上限10万円
男性不妊治療も
1回の治療につき上限10万円
問い合わせ：健康推進課

新婚家庭への家賃助成

月額1万円限度
最長36か月分
問い合わせ：都市計画課

出産祝い金

第1子・第2子 3万円
第3子 5万円
第4子 10万円
第5子以降 20万円
問い合わせ：こども課

定住促進のための住宅取得奨励金

新築・建売住宅 50万円
中古住宅 25万円
問い合わせ：都市計画課

妊婦歯科健康診査助成

自己負担額500円で歯科
健康診査可能
問い合わせ：健康推進課

乳児育児用品購入助成券

乳児1人につき2万円分の助成券
問い合わせ：こども課

赤ちゃんの駅

外出先で気軽に赤ちゃんのおむつ替えや授乳ができる場所を提供しています。市内の設置場所は、市役所・かがやき・山方支所・道の駅みわ・道の駅常陸大宮・図書情報館です。
問い合わせ：こども課

マタニティ・子育てタクシーの利用助成

出産に伴う入退院時、健康診査受診時（医療機関または集団健診）や予防接種等で、タクシーを利用した場合の費用を一部助成します。
問い合わせ：健康推進課

マル福（小児医療福祉制度）

対象は出生から中学3年生まで
問い合わせ：医療保険課

多子世帯への保育料の軽減

第2子は半額・第3子以降は無料
問い合わせ：こども課



★パラオ研修生のコーナー★

今号では3人の11月、12月、1月の研修について紹介します。

11/11



墨田区の東京スカイツリータウンソラマチ広場で行われたホストタウンPRイベントに参加しました。イベントでは全国のホストタウン7自治体が集合し、特産品やホストタウンを紹介。ケネリーが中心となり、事前キャンプ地ガイド等の配布をしながら、本市がパラオ共和国のホストタウンであることをPRしました。

▲ジャンケン大会を行うケネリー

12/7



新宿区で行われた「スポーツフットゥモローコンソーシアム交流会2017」に参加しました。アスティンがパラオやホストタウン交流事業等の取組について来場者に紹介したほか、今後の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての事業マッチングを各種団体などで行いました。

▲来場者にパラオの紹介をするアスティン

12/20



若草幼稚園を訪問しました。研修生がパラオの紹介をした後、各クラスの園児による歌の発表、12月生まれのお誕生日会等が行われました。その後は、研修生が各クラスに分かれて園児と一緒にカレーパーティを楽しみました。

▲園児にパラオの紹介をする研修生

1/7



3人が市成人式に出席しました。ジェニーは、パラオの海をイメージした水色の振袖に身を包み、「色鮮やかな着物を着た女の子たちと一緒に、私もこんなにきれいな振袖が着られて嬉しい。私も日本人になったみたい！素晴らしい経験になりました。」と笑顔を見せていました。

▲左から三次市長、ジェニー、ケネリー、アスティン

善意をありがとう

<社会福祉協議会へ>

(敬称略)



まほろば音楽祭実行委員会 30,000円



Vol.44

職員のつぶやき

～職員リレートーク～



学校教育課の宮崎開斗です。学校関係の仕事をしていると、自分自身が学生だった頃を思い出し、懐かしい気持ちになりながらも、業務に取り組んでいます。また、学生だった頃と比べ環境

が違い戸惑うこともあるのですが、周りの先輩方に助けられながら日々努力しています。仕事を始めてから半年以上が経ち職場の雰囲気にも慣れてきたところですが、初心を忘れないよう心がけ、気持ちを引き締めなおし、市の職員として頑張っていきたいです。



文化スポーツ課の高橋拓也です。私は、市内の歴史や文化、自然などを総合的に調査し、本として刊行する市史編さん事業を担当しています。

本市では泉坂下遺跡や佐竹氏が特に有名ですが、地区に残された古文書や碑文、言い伝えでしか分からないような出来事も存在します。そういった情報を収集・記録し、未来へ遺すことが私の務めだと考えています。今後、調査の際には、各地区で皆さんに会ってお話させていただく機会があると思います。その時はご協力をよろしくお願いし



文化スポーツ課の小磯晴香です。生涯スポーツに関する業務を担当しています。主な内容は、スポーツ教室の開催や社会体育施設の利用促進などです。

早いもので採用からもうすぐ1年が経とうとしていますが、まだ分からないことばかりで先輩方に助けていただきながら勉強の毎日です。

市民の皆様がスポーツを通じて生涯にわたり心身ともに健やかに暮らすお手伝いができるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



地域情報の調査・発信担当の岩崎です。

協力隊 2 年目もあと残り 1 ヶ月を迎え、月日の早さを実感しています。

今年度は多くの地域の行事に参加することが出来ました。8 月には小貫のオカシマサマ、11 月には檜山妙蓮寺のお会式、12 月には久慈岡のワーホイ（鳥追い行事）など、季節を堪能しながら地域を知る 1 年となりました。

10 月に行われた入桧沢の秋祭りでは、70 年ぶりに山車が地区を練り歩くという貴重な光景を目にすることができました。この山車は、かつて高部諏訪神社のお祭りで使われていたもので、高さは 5.7 メートルもあるそうです。高さがあるため、電線への接触に気をつけることと勢いよく練り歩くためのバランスを取ることが大変そうでした。70 年ぶりに地区の様子を見ることができて、山車も喜んでいたのでないでしょうか。

来年度は協力隊として最後の 1 年となりますが、私の活動の集大成となるように、地域を様々な視点から掘り起こしたいと思います。

ひたまる先生を紹介します vol.5

ひたまる先生とは健康、文化などの分野で豊富な知識や技術を持ち、ひたまる先生会に登録された方のことです。市民が「いつでも・どこでも・誰とでも」楽しく学びあえる場を提供しています。



▲クリスマス会で記念撮影！

国際交流ボランティアばらの会です。

外国人への日本語講座を開講して 20 年になります。現在は市内、近隣から 26 人の生徒が毎週月曜日の夕方、日本語能力試験に向けて熱心に学んでいます。イギリス、アメリカ、ベトナム、ネパール、フィリピン、中国、オーストラリア、パラオ、インドネシアと国際色豊かです。七夕祭り、ハローウィンパーティー、クリスマス会、お寺で座禅体験、3 月 4 日にはひな祭り交流会を行うなど、交流の輪を広げています。

外国の方との交流に興味がある方、一緒に楽しみませんか？
問い合わせ 53-2531

いっしょにまちづくり



▲道の駅常陸大宮
～かわプラザ～
駅長 遠藤修平

道の駅の魅力づくりには地域・市民の力が不可欠です。地域の人たちが集いにぎわい活気がある、それだけでも域外からのお客様には、「何だろう」「何かあるのかな」と関心を惹かれるものです。そして、にぎわいの核心に触れ、体験、消費、交流を通じ、インターネットや情報誌から得られない土地柄や人の気質、気候風土、街の魅力を知って「また来たい」と感じて頂くことが、道の駅の魅力となり、地域を元気にすることにつながります。

市民と道の駅が協力し、道の駅を訪れるお客様をおもてなしの気持ちでお迎えしていく。その実現のためには、地域資源を知り、形にするためのアイデアをお持ちの方々とコミュニケーションを深め、ものづくりや集客コンテンツ開発、サービス品質の向上へ取り組みたいと考えています。一方では、市民が利用し易い、使える道の駅と感じ頻繁に足を向けて頂けるよう、ご意見やご要望を真摯に受けとめ改善を進め、誰にでも優しい道の駅を目指して参ります。

常陸大宮市の金

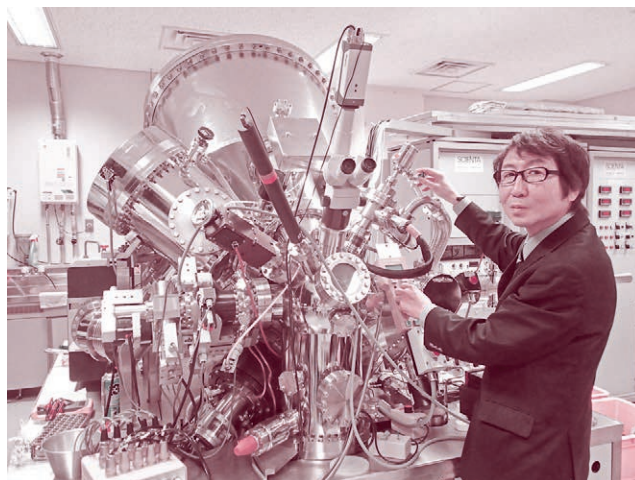
少なくとも奈良時代以降、茨城県北部（常陸大宮市、大子町）から栃木県東部（那珂川町）にかけて、たくさんの金山が発見され、砂金も採られてきました。10年ほど前まで稼働していた本州最後の金山、栃原金山も、この地域にあります。産出される金で高品位（100%近い含金量）のものは、自然金（Au）という元素鉱物として存在しますが、銀との合金エレクトラム（Au、Ag）という鉱物として産出することが多いことがわかっています。また、この他に、含金量としては50%を切りますが、テルル（Te）化金・銀という鉱物もあります。

古くから金は貴重とされてきました。その理由として、金が酸化や腐食しにくく、薄く延ばすことができるなど、貨幣や装飾品として加工がしやすかったことがあげられます。

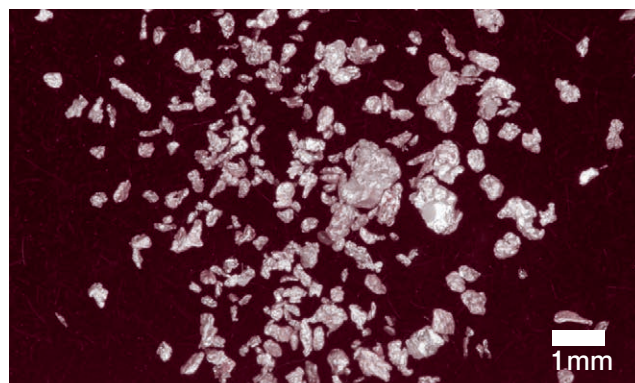
また、材料の表面を薄膜で覆う“金メッキ”も古くから行われてきました。金属を溶かしやすい水銀の性質を利用し、金を水銀に溶かしてアマルガムという合金として塗布し、加熱することで水銀だけを蒸発させる方法で、材料に金メッキを施すことができます。奈良市東大寺の大仏には、茨城栃木県境地域の、主に那珂川町武茂周辺で産出した金を使用し、奈良県や三重県で古くから産する水銀を用いてアマルガム法で金メッキを施しています。加熱によって発生する水銀の蒸気はきわめて有毒なため、大仏建立にあたっては多くの死者が出たといわれています。

金は主に熱水鉱脈に石英や硫化鉱物（硫黄と金属が結合した鉱物）とともに産出します。当地域でも熱水鉱脈が形成され、金、石英や硫化鉱物が誕生しました。マグマが地下深くでゆっくりと冷えて固まっていくときに、石英は最後にできます。化合物になりにくい金は、最後まで結合する相手が見つからず、元素のままで石英と一緒に産出します。岩石が風化し浸食されて河川に流された場合は、砂金として発見されます。

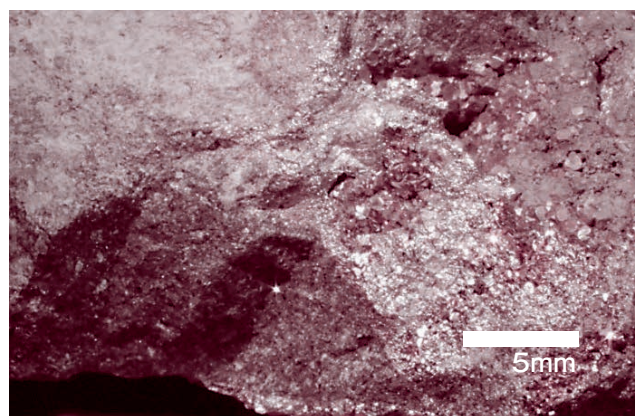
また、金に似た鉱物に黄鉄鉱があります。鉄が硫化した鉱物（FeS₂）なので、金（Au）とは別物です。しかし、黄鉄鉱は多くの場所で産出するため、初めて黄鉄鉱を見た人は、金と勘違いしてしまうことがあります。このため、黄鉄鉱は俗に“愚か者の金”（fool's gold）といわれることがあります。常陸大宮市から大子町にかけては、金に由来する地名が多く残っています。古い記録もたくさんあるようです。この地域で、ゴールデンエリアを作ることが私の理想です。



市史編さん自然部会専門調査員 八田珠郎（千葉科学大学教授 理学博士）
写真の装置は、X線光電子分光装置（略称 ESCA エス力）。元素と電子状態を分析する装置。



▲金（中生代ジュラ紀八溝層群産）



▲黄鉄鉱（同上産）

撮影：菊池芳文氏（自然部会地質分野専門調査員）

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎ 52-1111（内線 344）



道標(みちしるべ)

市内には多くの道標が残っています。これらの多くは、交通網が発達し人々の行き来が盛んになった江戸時代後期頃に建てられたものです。今回は緒川～氷之沢～高部～東河戸～タバコ峠の、美和地域のルートに注目しました。多くの道標は道路の改変等で撤去や移動されてしまっていますが、当時は分かれ道や峠のほとんどにあったと考えられます。

石碑などの調査は、拓本をとると下図のように文字やデザインがはっきりし、新しく解かることもあります。

緒川から美和へ向かう道の山間にある①の道標は行先のみを記した、比較的小さな道標です。大雑把な距離も記されています。見通しの悪い山道では、こうした道標が役に立ったことでしょう。

花立峠の道標②は市の指定文化財になっており、非常にデザイン性が優れたものです。この道標は、美和方面から緒川方面に向かうための案内です。背面に「のざハ(野沢) 大かい(大貝) ほそ草(細草) 熊ノ草(熊の草) やくま(谷熊) 小だノ口(小田野口)」とあり、周辺の住民により建てられたことがわかります。

小田野口の道標③は、右は小田野を抜けて大那地(栃木)に行く道を示していますが、現在置かれている向きだと高部方面になります。このため、実際は今より東を向いて置かれていたと推定されます。

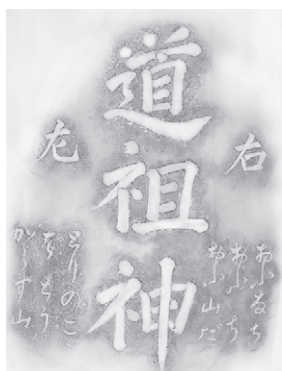
タバコ峠の道標④も、側面の文字から判断すると、道の西側に東を向いて置かれていたと考えられます。

②と④はよく似たデザインで、建てられた年も近いので、製作者が同じであった可能性があります。

このように道標をじっくりたどりながら、旧道を探索すると、昔の人々の行きかう様子を肌で感じる事が出来ます。ぜひ歩いてみて下さい。もしかすると、未発見の道標が見つかるかもしれません。

③

〔左側面〕佐藤元秀友得 立之
〔背面〕文政4年(1821年)二月吉祥日



馬頭 鷺子
大山

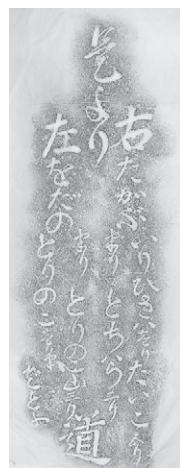
大那地
大内
田

④

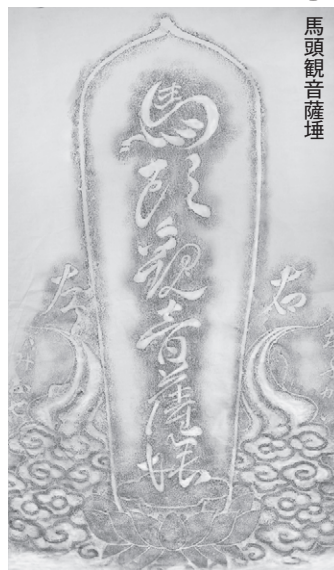


右 高部より入檜沢里 栃原二里 大子五里
是より
左 小田野より 鷺子寺里余り 鷺子山三里
馬頭□□
道

①



②



〔右側面〕右 大貝 小舟 松ノ草 長倉
〔左側面〕左 上小瀬 野口 石塚 水戸
〔背面〕寛政十二年(1800年)孟春

講中 町中
野沢 大貝 細草 熊の草 谷熊 小田野口

馬頭観音塔

〔右側面〕大澤村 栃原村
〔左側面〕百六町 高部村 東河戸
享和元年(1801年)



■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化・スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 344)

かがやきだより vol.6

食改さんの活動「生活習慣病予防教室」を紹介します！

地域住民の皆さんを対象に、その地域の食生活改善推進員が「生活習慣病予防教室」を実施しています。

今年度は12月までに計20回開催しました。

☆今年度の生活習慣病予防教室の目標は・・・

○ 望ましい食習慣を学ぼう！

- ・ バランスの良い食事を知る
- ・ 1食分の食事量を知る（実食！）
- ・ 間食のエネルギーを考える



高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、望ましい食習慣と適度な休養・運動で予防が可能な疾患と言われています。

「望ましい食習慣とは何か」をお伝えすることで皆さんの健康維持につながればと活動しています。

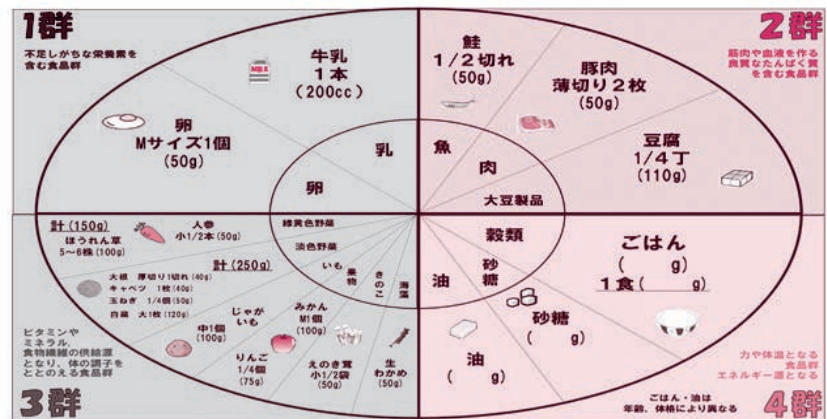
《生活習慣病予防教室の流れ》

1日のバランス食（1日に必要な栄養を摂るための食品の基準量）等についての講話

1食分のバランス食を実際に調理し、試食して確認！

いつもの食事や間食について考えてみる

【1日のバランス食（基準量）の資料】



4群の量は年齢・性別・体重・活動量で変わります



☆参加した皆さんの声☆

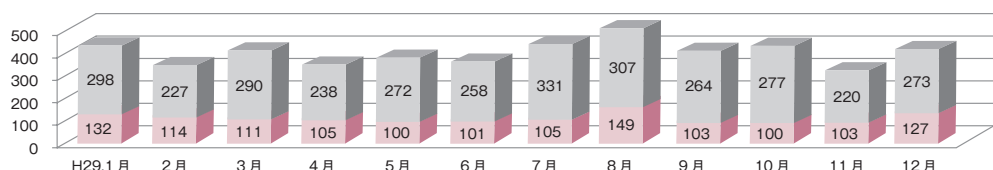
- ・いつもの食事は野菜が足りていないかな。
- ・肉や魚は1日の基準量より多く食べていた。
- ・酒は、ついあと少しと進んでしまうので気をつけたい。
- ・薄味は慣れだと思う。

生活習慣病予防教室で、おいしく楽しく！健康についてお話ししましょう♪ ぜひご参加ください。

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

■ 救急車以外
■ 救急車

※救急受け入れの人数を月別に表しています。（休日・時間外を含む）



見守り 新鮮情報

「総合消費料金に関する**訴訟最終告知**」という**ハガキ**が届いた。**訴訟**や**差し押さえ**などと書かれており、**怖くなって**ハガキに書いてあった電話番号に**連絡**したところ、「あなたは買った物の**代金を支払っていないため、企業から訴えられている**。弁護士に確認したが取り下げに間に合わないので、**示談金として10万円**をコンビニで支払うように」と言われた。**全く身に覚えがないのに支払わなければならないのか。**
(60歳代 女性)



相談急増 ハガキによる架空請求

ひとこと助言



本文イラスト：黒崎 玄

- ハガキによる架空請求に関する相談が増加しています。
- 行政機関を装い、「未納料金の訴訟最終告知」等と書かれたハガキが自宅に届き、文面に「訴訟を起こす」「差し押さえ」などと法律用語を使って不安をあおり、ハガキに記載のある連絡先に電話をかけさせようとするものです。連絡をするとお金を要求されたり、電話番号等の個人情報を知られてしまったりするケースもあります。
- このようなハガキが届いても、決して連絡してはいけません。
- 少しでも不安に思ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

見守り新鮮情報 第299号(2018年1月16日)発行: 独立行政法人国民生活センター

■問い合わせ■

茨城県消費生活センター

☎ 029-225-6445

常陸大宮市消費生活センター

☎ 0295-52-2185 (直通) (本庁商工観光課内)

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



1/7

平成30年常陸大宮市消防出初式が 開催されました！

消防広場で平成30年出初式が開催されました。各分団の消防車58台が集結し、消防団員744人及び消防職員55人のほか、来賓の方々など総勢923人が参加され盛大に行われました。



▲青空の中、厳粛に執り行われました



▲機械器具点検のため車両の前に並ぶ消防団員



▲分列行進を行う女性消防団員

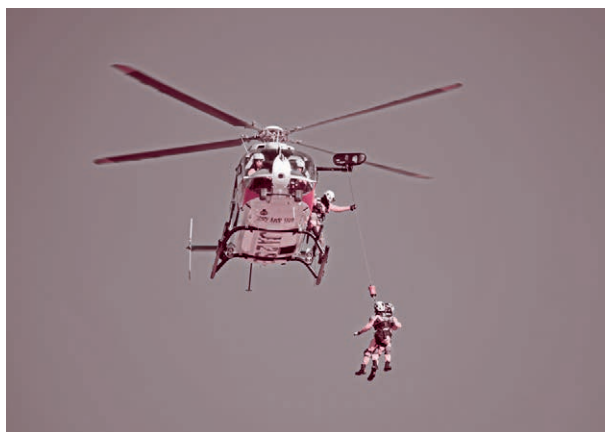


▲分列行進を点検する三次市長、岡山消防団長

式典終了後、茨城県防災航空隊による式典会場の上空偵察が行われ、神田防災航空隊長が市長に報告しました。



▲報告のため会場に向かう神田防災航空隊長



▲報告が終了し、機体へ引き揚げる

茨城県立中央病院ドクターカーの運行協定を締結、運用開始

茨城県立中央病院と茨城ドクターカー運行に関する協定を締結し、3月1日より運用開始します。ドクターカーとは医師や看護師が同乗した緊急車両であり、通報時や救急隊から要請されると茨城県立中央病院から出動します。

ドクターヘリは天候などの制限を受け飛行できないことがあります。ドクターカーは、そのような制限を受けることがないので、ドクターヘリが出動できない場合でもいち早く医師と接触し、処置することにより緊急度や重症度が高い傷病者の救命率の向上に有効です。

茨城ドクターヘリ及び栃木ドクターヘリを要請し、両方とも出動ができない場合に限り、ドクターカーを要請できます。

医療機関到着までの時間を短縮しつつ、早期に医師と接触し処置するため、

ドクターカーは現場から搬送している救急車とあらかじめ指定された場所で合流する方式となります。

標示されている施設がありましたら、ご協力をお願いします。

※ドクターカーは消防からの要請を受け出動するもので、市民の皆さんが直接要請することはできません。

要請の順序

天候不順で不可



茨城ドクターヘリ



栃木ドクターヘリ

すでに他の事案に出動しており不可

要請!!



茨城ドクターカー

ドッキング方式

県立中央病院から出動中のドクターカー



指定されたドッキングポイント



現場から搬送中の救急車



ドッキングポイントにご協力いただく施設に配布しています。

常陸大宮市消防本部
茨城県立中央病院

ドクターカー協力施設
この施設の駐車場は、救急車とドクターカーの合流のため使用させていただく場合があります。ご協力ありがとうございます。

■問い合わせ■

消防本部 ☎ 54-0119

ひたまるがゆく

1月14日に開催された第7回常陸大宮クロスカントリー大会に登場したひたまる。

ひたまるは、低学年1,000mコースに挑戦する子ども達と一緒にウォーミングアップを行いました。1,000mコースがスタートし、子ども達が元気よく走っていく姿を見て、精一杯応援！その後は、いばラッキーや選手のみんなど記念撮影をするなどして楽しい1日を過ごしました。来年は、応援だけではなく、選手として子ども達と一緒に走りたいと思ったひたまるでした。



▲いばラッキーと仲良く写真を撮りました！

スポーツクラブひたまる25情報局 Vol.41

スポーツクラブひたまる25では、クラブの運営に携わってくれる仲間を募集しています。

当クラブは、スポーツをすることに消極的な人にも参加してもらえるような教室やイベントを開催することを大きなテーマに掲げて活動しています。これまでスポーツ関係の団体に所属したことがない方や試合に出場した経験がない方も大歓迎です。おもてなしの心で、これまでにない新しいイベントを一緒に企画しましょう。お問い合わせは、ひたまる25事務局のほか、文化スポーツ課でも受け付けています。



■問い合わせ■

スポーツクラブひたまる25事務局 ☎ 55-9666
文化スポーツ課 文化・スポーツグループ
☎ 52-1111 (内線 342)

御前山ビオトープ周辺の植物等

山麓の林縁や林内などに群生することが多く、高さ15～25cmほどになる多年草です。3～5月頃に白い花をつけます。葉の表面にはふつう淡白色の斑点があります。花は直径1.5～2.5cmですが、花には花弁はなく花弁のように見えるのがく片です。初夏のころから地上部は枯れて姿を消してしまいます。ニリンソウの名前で呼ばれていますが、花の数は2輪とは限りません。

ニリンソウ



(キンボウゲ科イチリンソウ属)

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(2月1日現在・推定常住者)

総人口 41,193人

(男 20,324人 女 20,869人)

世帯数 16,088世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 2月 第161号

発行日 平成30年2月26日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。